

# かみさと



学校教育目標  
豊かな心もち  
他のために行動できる子  
やさしく かしく  
たくましく

- ① かがえて行動 ② みんなにあいさつ  
③ そい合って働く ④ もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより  
発行者 校長 藤田 敦 〒339-0006

令和6年11月30日(土) 12月号  
さいたま市岩槻区上里2丁目2番地 TEL048-794-2316

## 高みを目指し、一步を重ねる

校長 藤田 敦

校舎北側の道路沿いにあるイチョウ並木が鮮やかな深黄色になり、秋の深まりと冬の始まりが感じられる季節となりました。

先月の16日(土)、本校金管バンドマーチングキッズが大阪城ホールにて開催された全日本バンドフェスティバルに出場しました。前日、児童は午前授業終了後、急いでの給食、出発、長距離移動といった悪条件にも負けず、見事な演奏を緊張感に満ちたホールで披露してくれました。放課後及び土曜日、夏季休業日等の練習の成果を十分に発揮してくれました。

4年連続全国大会出場(今年度から西関東大会代表枠は3から1に減)ということだけでも素晴らしい結果です。しかし、児童の思いは、私の想像を超えており、改めて私自身の未熟さを思い知らされた大会でもありました。そう痛感したのは、結果発表後の児童のくやしい思いを浮かべる表情を目にしたからです。金、銀、銅のいずれかの賞をいただくわけですが、結果は銅でした。児童は、少しでもよい演奏をもっとしたかったわけです。観ていた私は、十分見事な演奏であり、誇らしい気持ちでいっぱいでした。しかし、児童はさらなる高みを目指していました。結果がすべてではなく、その過程が大事ではありますが、結果に対しくやしさをもてることは、人間としてとても大切であると思います。時に、くやしさが現状に満足せず前へと進む原動力となり、自己を成長させ、最終的には集団や社会をよりよくしていくからです。このことを児童の姿から改めて気づかされました。もっと前へ、もっと前へという強い想いです。

これらの思いは、他の児童の活動の姿からもたくさん感じられます。

例えば、28日に東岩槻小学校で行われた岩槻地区理科研究発表会。代表児童は、すでに行った実験結果で十分であっても、追加実験を行いさらに研究内容を深め、発表練習を自ら何度も何度も繰り返し、納得いくまで取り組んでいました。

普段の学習においては、算数においては、答えがすでに導き出せていても、もっとよい解決方法があるのではないかと課題解決に取り組んでいる姿があります。特別活動の話合い活動においては、みんなが納得できるよう互いに意見を出し合い、クラスにとってよりよい案を練り上げています。

29日(児童相互鑑賞)、30日(学校公開)に実施しました校内音楽会でもよりよい演奏をするため全力で取り組んでくれました。学年が上がるにつれ二部、三部合唱と高度になり、合奏では楽器の種類も増え、リズムも複雑になり、音楽における学びの系統性や児童の成長過程がよくわかる音楽会となりました。どの学年の演奏も素晴らしく、心を動かされるものでした。

当然ながら、同じゴールを目指さなければならぬわけではなく、児童一人一人の現在地から、少しでも前へと成長しようとする想いをしっかりと受け止め、支援してまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。